

南消防署から



9月9日は救急の日! ~救急車の適正利用とけがの予防~

救急車を呼ぶ前に
考えよう



救急車の適正利用について

2019年の横浜市内の救急出件数は、212,395件で過去最多となりました。右肩上がりで増え続けていますが、搬送した人のうち48%は軽症でした。救急出件数が多くなれば、現場への到着時間が遅れ、救える命が救えなくなる恐れがあります。また、けがなどの軽症での救急搬送が減ると、その分重症者の元にすばやくかけつけることができます。けがの予防は結果として他の人の命を救うことにつながります。救急車を呼ぶか迷った場合は#7119へご相談ください。24時間365日対応をしています。

けがの予防 ここでは、けがを予防するポイントを確認しましょう。

子どものけが予防

子どものけがの原因で多いのが不慮の事故です。成長につれて行動範囲が広がり、日常生活のあらゆる場面でけがをする可能性があります。あるので気をつけましょう。

大人のけが予防

急な激しい運動やスポーツは、けがに繋がりがやすいです。日ごろから適度な運動をし、体を動かす前はしっかりとストレッチをしましょう。

高齢者のけが予防

ちょっとした転倒でも大きなけがに繋がります。足腰を鍛えることはもちろん、バランス感覚を養う運動も心掛けましょう。

横浜市で急な病気やけがで迷ったら

電話から



または 045-232-7119
年中無休・24時間対応

パソコン・スマートフォンから

救急受信ガイド

横浜市 救急受信ガイド 検索

緊急性や受診の必要性を確認できます。

緊急時はすぐに119番で救急車を呼びましょう!



横浜市消防局マスコットキャラクターハムくん

閩南消防署総務・予防課 ☎ 253-0119



来ぶらり

今月のおすすめ本

テーマ 南極ってどんなところ?

一般書

南極ではたらく

かあちゃん、調理隊員になる

著者 渡眞淳子 / 発行 平凡社
書誌番号: 3-0500658744



「悪魔のおにぎり」で話題の著者が、南極で調理隊員として奮闘した経験を描いています。エネルギーの使用やごみの排出量が限られる中で、桜の下で手作りのお花見弁当を食べたり、氷山で流しそうめんをしたり、工夫がいっぱい。南極ならではのリメイクレシピも載っています。

児童書

たくさんのふしぎ

南極の生きものたち

著者 水口博也 / 文・写真 発行 福音館書店
書誌番号: 3-0500320771



夏、雪の上にはペンギンたちが通る場所が、いくすじの道として刻まれます。でも、南極で暮らすのはペンギンだけではありません。アザラシやナンキョクオキアミ、カモメ、クジラなどの生きものたちが、お互いを食べ、あるいは食べられて、お互いの命を支えているのです。

閩南図書館 ☎ 715-7200 ☎ 715-7271

子育て掲示板①



地域ぐるみで子育てを応援!

身近な地域で「子どもを預けたい人」と「子どもを預かる人」をつなげ応援する、有償の支えあい活動です。

横浜子育てサポートシステム

子どもを預けたい人

利用会員

仕事の都合で保育園のお迎えに間に合わない。

病院に行く間、預かってもらえたら...

もうすぐ出産。上の子の幼稚園の送り迎えを頼みたい。

生後57日~小学校6年生の子どもが対象です。子どもが病気のときや、宿泊の預かりはできません。利用するには入会説明を受けてから会員登録が必要です。日数がかかりますので、早めに手続きしてください。また、依頼内容によっては提供会員が見つからない場合があります。

子どもを預かる人

提供会員

少しの時間ならお役にたてるかも!

子育て経験を生かして何かお手伝いできるかしら?

提供会員になれるのは、市内在住で、健康で子育て支援に理解と熟意のある20歳以上の人です。入会説明会に参加後、3日間の研修が必要です。



提供会員募集中

提供会員として活動するための研修会を、11月に南区で行います。ぜひ、同じ地域で子育てを頑張っている皆さんのために力を貸してください。まずは、入会説明会へご参加ください。お待ちしております。(他の日程も可能。詳細はホームページでご確認ください)

入会説明会

【日時】9月26日(土)10時30分~11時30分
(9月11日から受付開始)

【場所】地域子育て支援拠点はぐはぐの樹
閩横浜子育てサポートシステム南区支部(下記)

横浜子育てサポートシステム



閩横浜子育てサポートシステム南区支部(地域子育て支援拠点はぐはぐの樹) ☎ 731-2291(火~土:9時~17時) ☎ 715-3815